

令和2年10月9日

保護者様

横浜市立並木第一小学校
校長 川村真弘

前期「お礼」

R2年度前期評価期間(6月分散登校～9月末)
～今できることを今できる範囲で～

令和2年度は4月スタートから所謂「正体の見えない・未来の見えない・正解が見えない」と称される新型コロナウイルス感染症流行の中、本日ようやく前期終了日を迎えることができました。この安堵感や達成感を皆様と一緒に分かち合いたいと思います。子どもたち、保護者、教職員、地域の皆様全員で力を合わせた成果です。この期間の多くのご理解、ご支援、ご協力に改めまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。そして、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、前期6ヶ月の内、実際は1/3の2ヶ月が休校でした。その期間は、自宅学習。6月になり、授業は再開したものの分散登校・午前授業が続きました。やがて、長雨と寒い7月を味わい、8月1日から今度は猛暑となり、感染症対策と熱中症対策同時進行の期間もありました。そして、初めての短い2週間の夏休み。結局いつもなら前期約100日登校するところ今年度の前期は約70日の登校でした。でも、1単位時間を30分にしたり、夏季休業を減らしたり、学校行事を中止延期したりして授業時数を確保した結果、その30日分の遅れを相当時間取り戻すことができました。ひとえに、子どもたち、保護者の皆様のご理解のおかげです。重ねてお礼申し上げます。

懇談会及びお便りでお伝えした通り、評価期間が短く、しかも感染症対策により学習方法に制限もありましたので前期は簡素な「あゆみ」になりましたがご了承ください。しかし、3月から5月までの3ヶ月もの長い休校期間を含めて、毎日約束を守り、我慢し、頑張っている子どもたちを何よりも一番にほめてあげたいと思います。

また、あゆみ記載内容変更に伴い、令和2年度より「出席のようす」につきましては年度末に1年間分を別紙にて表記します。但し、前期の出席の様子についてお知りになりたい方はご遠慮なく担任までお問い合わせください。